

# 健康

## 質問

私は大腸がんでストーマ(人工肛門)の手術を受けて間もないので、すが、便が液状で、ときどき漏れることがあり、人と会って話をしているときに大変困ります。ストーマのトラブル対処法について教えてください。

## 人工肛門から便が漏れる



三谷 和江  
徳島大学病院皮膚  
排泄ケア認定看護師

## 回答

ストーマはギリシヤ語で「口」を意味し、おなかの外に手術で引き出して作った便や尿の排泄口のことを言います。ストーマには括約筋がなく、自分の意思で排泄をコントロールできないため、袋のついた器具に排泄物をためて、管理を行います。

消化管ストーマには、結腸に作られた結腸ストーマ(コロストミー)と、回腸に作られた回腸ストーマ(イレオストミー)があります。前者から出る便は泥状から固形便であることが多く、後者から出る便は、大腸を通過しないため水分が多い便となります。まずはご自分のストーマがどの部位に作られたのか知っておきましょう。

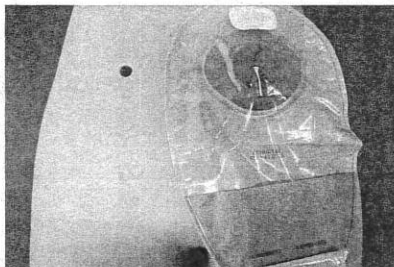
手術後、活動量が多くな



ると、体形や腹壁の変化で漏れを生じやすくなる場合があります。

ストーマに高さがなく、体の動きによって器具にしろや隙間ができたり、周囲がへこんだりする場合に

ストーマに付けられる器具



は、凸型の器具やリング状の皮膚保護材、ペーストなどを使用し、補正を行います。器具装着時にはストーマの基部を数分間押さえ、体温で引っ付くのを待ちます。ストーマベルトを併用すると器具の安定感が得られます。

臭いが気になる場合には、ストーマ袋の中に入れて消臭剤や器具の上に乗せるシートなどがあるので活用します。水様便が排泄される場合には、便を固める吸収凝固材の使用が便利です。食後など時間によって多量になる場合は、容量の大きなストーマ袋やドレーンバッグもあるので併用するとよいでしょう。

ストーマの近接部に皮膚障害が生じる場合には、排泄物による刺激が原因であることが多く、ストーマ器具の交換間隔が長すぎたり、器具の穴開けが適切でなかったりすることが考えられます。器具は漏れてからではなく、定期的に交換を行います。また器具の穴

は適切なサイズ(2ミリ程度)とします。傷がある部分にはストーマパウダーを薄く散布し器具を貼付します。

器具貼付部に皮膚障害が生じる場合には、器具を剥がすときの刺激や、皮膚保護材のアレルギイが原因の場合があります。器具は、刺激しないように優しく剥がします。ストーマ袋で皮膚障害を起こす場合もあるため、綿の力バーや下着の工夫などを行い、直接袋が皮膚に付かないようにします。

ストーマ器具にはたくさんの種類があり、排泄物の性状や腹壁の状態、貼付期間、患者さんの好みなどによって選択されます。

ストーマケアは個人の状況によって異なります。器具の選択や日常生活、皮膚トラブルなどについては、ストーマ外来や、皮膚排泄ケア認定看護師が勤務している病院が県内にあるので、相談するとよいでしょう。(第4土曜掲載)

がんに関する質問は徳島がん対策センター(電話088(6333)9438) (平日午前8時半から午後5時まで)にお寄せください。 <http://www.tok-n-gantaisaku.jp>でも受け付けます。

## 器具適切に補正して

## 認定看護師に相談を